

# 菅谷まちづくり

広報誌 第16号 平成31年3月19日発行

発行者 菅谷地区まちづくり委員会 委員長 平野 道代

企画編集 菅谷地区まちづくり委員会総務部会

〒311-0105 那珂市菅谷2378-1 (菅谷地区交流センター)

☎029-295-7175 / Fax029-229-0832

No.16



第八回菅谷まちづくり市民運動会開催  
雨を吹き飛ばし  
笑顔で熱戦、大盛況に  
また例年大盛況のパン食い競争では今年も更に盛り上がり、子供から大人まで参加希望者が入場門に長蛇の列となりました。自治会対抗種目においては、最後の最後まで手に汗握る勝負となりました。特に、最終種目の総合リレーでは、小学生、中学生、成年へと各自治会とも力強い走りを見せてくれ、結果はわずか〇・五点差で優勝が決まりました。選手、関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。

第八回菅谷まちづくり市民運動会が十月十四日(日)、菅谷小学校グラウンドにて開催されました。朝方まで雨の心配がされたものの、選手及び関係者の皆様の日頃の行いの賜物で雨雲を吹き飛ばし、盛大に開催されました。昨年の雨天打ち切りのうつ憤を晴らすかのように、選手みんなが各種目に楽しんで参加されておりました。

【体育部会】

第16号

菅谷まちづくり

平成31年3月19日 (6)

## 地域福祉部会

ふれあい給食事業  
季節感のある温かく  
美味しいお弁当を



今から頑張ります!



綺麗に盛りつけ



ホッカホッカで届けたい

平成三十年度第四回ふれあい給食(弁当)の配食事業が十一月二十八日(水)に行われました。まちづくり委員会では、一人暮らしの高齢者の方にこの事業を通して少しでも喜んで頂ければと思います。今回の献立は実施しております。今回の献立は

『ひだまり』の調理室で、美味しいお弁当を、ホッカホッカで届けたい。そんな思いを胸に、明るい笑顔で料理をして下さったボランティアの皆様をどうしても紹介したいと思いまして、朝礼の後に集まって頂き、集合写真を撮り掲載させて頂きました。その他にも、お弁当の包み表紙を

★きのこご飯 ★とりささみフライ  
★さつま芋と切り昆布の煮物  
★酢の物 ★漬物の大坂漬 ★デザートには柿で季節を感じられるお弁当を作り、お届けすることが出来ました。

綺麗に色染めしてくれた学童保育の児童の皆さん、そして一人暮らしの高齢者の自宅まで急いで届けて頂いた民生委員・児童委員の方々、皆様のご協力に感謝いたします。大変わせになりました。【担当 大海】



広報誌第15号で掲載した中宿自治会会长宮田寛氏は宮田寛氏の誤りでした。ここに訂正してお詫びいたします。

## 編集後記

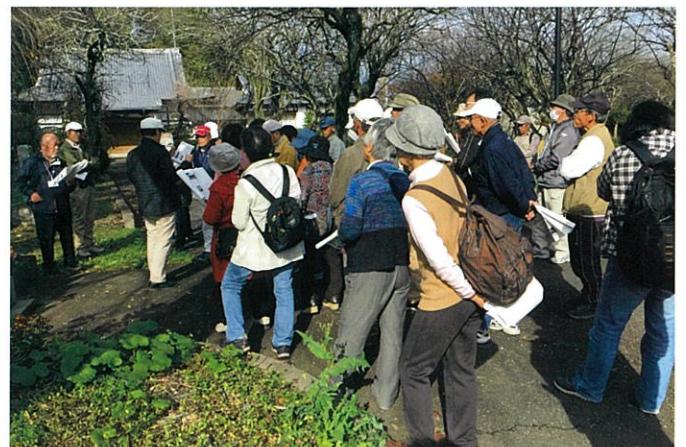


朝まで雨が降っていたから  
「青空がやっぱりいいな運動会

今回の表紙は市民運動会の写真を採用しました。玉入れ競技の背景に横断幕や垂れ幕も躍動していると 思います。朝までの雨とは打って変わつて太陽が降り注ぐ好天に恵まれました。前年が雨で途中打ち切りとなつただけに、なおさら嬉しい青空となりました。

## 訂正とお詫び





龍昌院探索 (戸多)



寄せ植え講座



お上手ですね～



楽しかった～

後半の行事も、予定通り盛況の内に実施することが出来ました。先ずは十一月七日（水）、歴史民俗資料館館長・仲田昭一先生に企画及び同行案内をして頂いた郷土歴史講座です。今年は那珂市西部地区をメインに実施しました。飯田の一乗院では「菊まつり」開催中にも関わらず、住職自ら境内の案内や本堂での説法をしてくださり、ユーモアのあふれる語り口で感銘いたしました。気が

付けば予定時間を大幅に上回る滞在となってしまいました。午後からは、戸村城跡や渡里長者屋敷跡を散策し、日々の生活では決して気づかない貴重な体験をすることが出来ました。

続いては、十二月八日（土）、交流センター二階で今年も永井真美恵先生にお世話になり、寄せ植え講座を開講いたしました。今回、クリスマスバージョンでお花を構成して頂き、受講者は真剣な面持ちで先生の手元を見つめているのが印象的でした。



【生涯学習部】

最後は新春かるた会です。一月十二日（土）、中央公民館和室に於いて実施いたしました。「那珂市観光かるた」で郷土の歴史を廻る小旅行を経験し、百人一首では初体験にも関わらず緊張した空気の中、接戦が繰り広げられました。



那珂市観光かるた

## 生涯学習部会

今回は、一般家庭から排出される不燃ゴミ、可燃ゴミのリサイクルについて学びました。特に、県内でも最先端のゴミ処理施設を見学するため、各自治会にも呼びかけて、十一月二十一日（水）、総勢二十八名の参加のもと、鹿嶋市にある鹿嶋 RDFセンターと神栖市の神栖第一リサイクルセンターを見学しました。

鹿嶋RDFセンターは、可燃ゴミ処理施設ですが焼却処分をするのではなく、固形燃料（RDF）化し、これを利用して発電し電気エネルギーに変えていくという関東唯一の施設です。この施設のゴミ処理工程を学んだ中で処理工程をスムーズに行うには、最初の入り口であるゴミの分別収集がいかに重要であるか痛感させられました。

潮来市内で昼食をとった後は、次の訪問先である神栖第一リサイクルセンターに向かいました。

神栖第一リサイクルセンターは、不燃ゴミの処理を行う施設で、ビン類、プラスチック類、金属等を粉碎



鹿嶋RDFセンター

選別し、それぞれリサイクルできる形に圧縮成形する施設です。さらに、一般家庭から排出された家具類は、見事に再生し、神栖市民に安価で販売も行っています。

これら二つの施設を見学して「ゴミは資源である」ことを実感した次第です。

### 【環境部会】



集合写真



神栖第一リサイクルセンター

## 12月1日（土） 常磐自動車道側道クリーン作戦

